

2017年1月4日

株式会社生命科学インスティテュート 社長 木曾誠一 年頭挨拶（要旨）

明けましておめでとうございます。

昨年は、新たな中計 APTSIS20 がスタートしました。グループ各社においては、厳しい事業環境を勝ち抜く筋肉質な事業体制とするため、構造改革をはじめとする様々な施策を打っていただいた一年であったと考えています。

近年、医療関連産業を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。高齢社会の到来により保険財政が逼迫しており、昨年、超高額医薬品の薬価引き下げで議論を呼んだように、これまでのルールにとらわれない医療費の抑制政策が打ち出される可能性もあります。

一方、高齢社会に関連するもう一つの重要な政策として健康寿命の延伸があります。国民の健康は QOL の高い豊かな生活につながり、結果として、医療費も下がる。そんな社会を目指して、多くの企業が様々なソリューションを提案し、事業を展開しています。

このような脅威と機会が入り混じる環境下で、われわれがいかにして生き残っていくか、飛躍していくかは、既存事業の強化と新たな事業の創出が鍵となります。そして、生命科学インスティテュート（LSII）グループ各社の進める既存事業と LSII の創り出す新規事業が協奏し、新たな価値を世の中に提供していけば、われわれの未来は明るいものになると信じています。

さて、新たな年を迎えた今、私から皆さんに期待するのは、一人ひとりがチャレンジを続けることです。現状に満足することなく、全員が一步でも前を目指して成長できれば、私たちは強い組織へと進化します。皆さんが担っているのは、人々の健康に貢献する非常に価値ある仕事です。その尊さを忘れることなく、日々の業務に取り組んでいただくことをお願いします。

同時に、コンプライアンスの意識を継続し、そして高めていかなければなりません。われわれは人の命や健康に関わる事業を担っていることを常に念頭に

置いて下さい。コンプライアンスなくして、利益を出しても無意味です。コンプライアンスなくしては、サイエンスも事業も成り立たないことをしっかりと再確認していただくことをお願いします。

また、昨年、LSII グループの健康経営宣言をいたしました。従業員の皆さんはわれわれの最も重要な財産です。皆さんが心身ともに健康で、個性や能力を最大限に発揮し、生き活きと働いていただくことが、企業の持続的な成長に不可欠であると考えています。

コンプライアンスも健康経営も、その実現のために大切なことは、われわれ一人ひとりが、その仕事の意味や価値を深く理解し、そこに集う仲間に対する思いやりと尊敬の気持ちを持ち、仕事に取り組むことだと思います。それらを忘れずに日々の業務に勤しんでください。

昨年の年始にもお伝えしましたが、私の心にはいつも「雲外蒼天」という言葉があります。この雲を抜ければ、きっと青い空が広がっている。どんなに苦しい時でも仲間を信じ、尊敬し合い、挑戦を続ければ、必ずや明るい未来が待っていると信じています。これからも困難な場面に遭遇することもあるとは思いますが、皆さんとともにチャレンジし続け、健康を願う人々に貢献する、THE KAITEKI COMPANY でありたいと思います。

ともに頑張りましょう。

以上

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社生命科学インスティテュート  
管理部 総務・人事室  
TEL 03-5577-0440